



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.166 2015年4月9日発行 九州支部長

桜の季節があつという間に過ぎ、クスの若葉が目立ち始めました。新緑の季節もうすぐです。みなさまお変わりなくお過ごしのことと思います。

サーバス九州では3月に「国内会議」と「九州支部春の集い」をみなさまのご協力が無事終了し、支部活動としてはちょっとひと段落しているところですが、各会員のみなさまにおかれましてはトラベラーからのステイ依頼への対応や外国へのサーバストラベリングの検討などお忙しくされている方もおありではないでしょうか。

さて、会報2015年4月号(166号)をお届けします。

受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしく願いいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 「サーバス国内会議」が行われ、次のようなことが決まりました。
- 2 九州支部春の集い・「支部会議」を行いました。
- 3 '15秋例会について
- 4 シリーズ世界一周の旅ーその7ー インド・デリー編
- 5 サーバストラベリング報告 ハワイ
- 6 サーバス九州からのお知らせとお願い
- 7 サーバス九州現況 (2015年4月9日現在)
- 8 サーバス九州連絡先等(常掲)HPでは省略

## 1. サーバス国内会議が行われ、次のようなことが決まりました

### ●概要

期日：2015年3月14日(土)～2015年3月15日(日)

場所：3月14日(土) 福岡リーセントホテル会議室

3月15日(日) 西南学院大学コミュニティセンター会議室

参加者：懇親会参加を含めて29名

内容：準備された懸案議題についての討議

- ①本部会計関係
- ②日本サーバス被災者支援報告
- ③ホストリストIT化の現状と今後
- ④モンゴルの障害児教育研修支援プロジェクト

- ⑤ I T化に伴う各種様式の検討
- ⑥国内会議参加役員旅費補助の方針と方法
- ⑦国際サーバス総会への参加
- ⑧来年度国内会議開催地と期日の決定

特別プログラム：SKYPE Meeting

国際サーバス会長と役員を交えたSKYPEでの交流

- 国内会議の公式議事録は会長の方から近々発表され、ホームページにアップされると思いますが、要点のみ書き出してみます。
- ①本部会計関係：2014年度の会計報告・2015年度予算ともに承認されました。
- ②日本サーバス被災者支援報告：日本サーバスのHPでご覧ください。
- ③ホストリストIT化の現状と今後：加盟国中最後になった日本のホストリスト電子化ですが、今年3月に国際サーバスのドルフィンにアップされました。印刷版のホストリストも発行され、各国のサーバスに送られます。(来年度)
- ④モンゴルの障害児教育研修支援プロジェクト：近畿ブロック提案のプロジェクトが日本サーバスの活動として認められ、各支部応分の財政支援を行うことになった。←この件については以下に掲載しています。(「モンゴル障害児教育支援について」)
- ⑤IT化に伴う各種様式の検討：新会員票が近日中に提案され、日本サーバスHPでダウンロード可能となります。
- ⑥国内会議参加役員旅費補助の方針と方法：日本サーバスから旅費の4分の1を支援。4分の3をどうするかは各支部に委ねる。九州支部としての検討が必要です。
- ⑦国際サーバス総会への参加：日本サーバスから代議員1名とユース代表者1名を派遣(旅費一部負担)。ユース代表として参加可能な人が募られています。
- ⑧来年度国内会議開催地と期日の決定：2016年3月12日～13日 北海道

## ● モンゴル障害児教育研修支援について

日本サーバス会長

このたび、モンゴルサーバス会長の Ms. K B から、以下に記す経緯をへて「モンゴル障害児教育研修を日本の近畿地方で実施したい。それについて日本サーバスの支援を得たい。」との申入れがあり、去る3月14日と15日に福岡市で開催された今年度の国内会議で協議の結果、日本サーバスとしてこの研修計画を支援すること、具体的には近畿支部が担当して実施すること、参加者の往復旅費は自弁とするが、研修中のホームステイ提供を含めて滞日中の経費を援助する目的の募金を実施すること、を決議しました。

趣旨をご理解の上、みなさまのご協力を賜りたく、よろしく申し上げます。

### 経緯

2013年秋に中国広州市で開かれたサーバス東アジア会議の席で、K. B. から近畿支部長に「モンゴルでは障害児が教育の枠外に置かれて惨めな状態にある。障害児教育などについても日本に学びたい。」との話が出ました。自身でも障害児教育に関係してきた支部長は2014年夏にモンゴルを訪問し、K. B. さんも来日してお互いの国の障害児の置かれている状態について理解しあいました。K. B. さんは日本の関係施設を見学し関係者の話を聞いて「ぜひモンゴルの関係者を集めて日本に研修に来たい。モンゴル政府と交渉する。」と言って帰国しました。当初はモンゴル文部省の後援を期待しましたが、政治情勢の変化で政府の補助は全くあてにできなくなりました。それでもHさんを含めて11名の研修団が組織されて、全員が自費で来日することになりました。

日本側では近畿支部長が奔走して下記のようなプログラムが生まれ、サーバスホスト宅を中心にホームステイ先が準備されて、この計画が実現の運びとなりました。

#### 日程表

5月8～15日の方と8～17日の方になる。

8日	来日		
9日	歓迎交流会	京都	
10日	知的障害児・者施設「止揚学園」	滋賀	
11日	重度障害者支援施設「ともがき」	大阪	見学と講演「障害児及び学校システムについて」
12日	金剛コロニー 大阪府立富田林支援学校	大阪	
13日	大阪府立視覚支援学校 又は 大阪市立聴覚特別支援学校 大阪ドーンセンター	大阪	午前中2班に分かれてどちらかの学校を見学する  モンゴル・日本障害児親の懇談会
14日	京都市立小・中一貫校 凌風学園 教育総合相談センター	京都	障害児学級併設
15日	1週間組の離日		

10日組は 15～16日 観光・ショッピング 17日 離日

福岡の国内会議では、この種の国際協力は JICA や専門団体、二国間友好協会などに任せるべきではないかとの意見も出ました。しかし、この計画はモンゴルと日本のサーバス会員の個人的な交流から発展したものであり、ホームステイの提供や地域の案内を通じた交流はサーバスの基本的な活動形態です。この計画を支援することはサーバスの主旨に適うものと考えます。

#### 支援金の募集

1ヶ月2万円で生活できるとも言われるモンゴルの人々にとって、往復の飛行機代だけでも莫大な出費です。それを厭わずに障害児教育を進展させようとする参加者の熱意に対してできるだけ協力をしたいと思えます。滞在中はホームステイとなってホテル代は不要ですが、研修中の交通費、昼食代などがかかります。それらの諸経費について下記の予算をたてて支援金を募ります。

#### 予想される滞在中の費用 約37万円

交通費	約25万円（1日2500円としてモンゴルの方11人7日分 引率者延22人分）
昼食代	約10万円（1日1000円としてモンゴルの方11人7日分 引率者延22人分）
歓迎交流会	1万円（歓迎交流会招待者昼食代）
雑費	1万円

<以上、「モンゴル教育研修支援」関係←日本サーバス発行文書の転載です>

#### ● 九州支部のモンゴル教育支援に対する対応：

九州支部は国内会議直後に行われた九州支部会議でこの問題を話し合いました。ここで、趣旨に賛同し、九州支部の財政から5万円を支援金として送ることを決定しました。個人的な支援も求

められていますので、サポートをよろしくお願いします。

### ● SKYPE Meeting

初めての試みで、しかもインターネット環境にないところでの交信でしたので、担当していただいたN会員にはたいへんなご苦勞をおかけしました。おかげさまで初挑戦がうまく行って良かったです。国際サーバス会長のJさん、役員イスラエルのAさん、それに日本側から、会長、名誉会長、顧問そして急遽九州代表として大役を振られたMS会員、みなさんそれぞれに大役を果たしてくださいました。

### ● ショートツアー

2日目の国内会議終了と同時に福岡市内ショートツアー（約1時間半）をKさんを始めとした大分チームで実施していただきました。防塁公園はちょっと遠いので目的地を変更して、博多祇園山笠で有名な櫛田神社へ。途中、西南大のところでほんのちょっとだけ見える防塁を見て格安博多ラーメンでおなかを満たし、櫛田神社へ。

### ● 支部のみなさんのご協力に感謝！

会議記録のH会員・S会員・N会員、議長のN.M.会員、受付・会計・接待のY会員、懇親会MCのT会員、K会員、SKYPE Meetingを成功させてくださったN会員、ショートツアーを担当していただいた大分チーム、国内会議参加者のステイを受け入れてくださったホストの方々、多くのみなさまのご協力で国内会議を無事ホストできました。ありがとうございました！

## 2. 九州支部春の集い「支部会議」を行いました

### ● 概要

時：3月15日午後2時00分～4時30分

所：西南学院大学コミュニティセンター会議室

内容：①2014年度活動の振り返り②会計報告③2015年度活動計画④予算審議⑤その他、仕事分担など

参加者：14人（見学者1名→入会してくださるそうです）

### ● 詳細

①2014年度実施の九州支部三大行事をスライドで振り返りました。

②会計報告・会計監査：承認されました。

③今年度の支部の活動としての秋例会を長崎担当で行います。（来年は佐賀のバルーンフェスタをとという声があがっていました）→秋例会については後述しています。

海外との交流は今年は国際会議開催年なのでそちらへの参加呼びかけ、ということで特別なプロジェクトは組まないことになりました。例会に外国の方をお招きすることは今年度も継承します。ホームステイ等お世話になると思います。

④予算案が提示され、認められました。国内会議で提案されたモンゴル教育支援（上掲）も承認されました。

⑤来年度の支部長交代を視野に支部長の仕事を分担していく。→後日、副支部長との話し合いで、以下のことを支部長と副支部長で相互に乗り入れながら仕事をシェアしていくことにしました。今後、友野副支部長からも会員のみなさんへ直接必要メールが回ってくると

思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

#### 主な分担事項

- ① LOI 発行（支部長・副支部長の双方で。どちらか不在の場合も対応できるようにするため）
- ② ホストリストの貸し出し。
- ③ 日本サーバスからきたメールの会員への転送
- ④ 例会時等の外国からのホストコーディネーター  
\*各種申し込み、届けは今までどおり、地部長宛で構いません。副支部長の方に必要なものを転送いたします。

#### ● 支部会議の議案書

当日配布しましたが、会議に出席できなかつた方で議案書がほしい方はお申し出ください。お送り致します。経費節減のため数年前からこのような措置をとらせていただいております。

#### ● 県別のコーディネーター

昨年担当していただいた方にそのままお願いをすることになりました。以下の方々です。どうぞよろしくお願ひいたします。

福岡：T.R 会員 佐賀：N.M 会員 長崎：Y.K 会員 熊本：I.K 会員  
大分：K.C 会員 宮崎：A.E 会員 鹿児島：F.S 会員

### 3. '15 秋例会について

先日の支部会議で恒例の秋例会を長崎担当で行うことになりました。長崎地区担当の Y.K 会員を中心に以下のような計画が立てられています。詳細については 6 月号でお知らせいたします。スケジュールに入れておいてくださいますように。

#### アウトライン

時期：2015 年 9 月 26 日（土）～27 日（日）

見学・学習場所：長崎市

案 1：戦後 70 年被爆遺構を見学し被爆者のお話をお聞きする。

案 2：アウシュヴィッツで崇高な死を遂げられたコルベ神父の記念館一聖母の騎士学園内一を訪ねる）

宿泊：雲仙市星雲荘（雲仙小地獄温泉 白濁源泉掛け流し美肌露天風呂と宣伝されています。国民宿舎青雲荘）

参加費：12,000 円（①一泊 2 食代 ②長崎→雲仙への移動 ③雲仙→島原→諫早への移動 ④謝礼等を含みます）

招待：韓国と台湾には昨年同様案内メールを送ります。国内他支部にもお知らせします。

集合：9 月 26 日午後 12 時 30 分～13 時 長崎市浦上駅（J R 長崎線終点の 1 つ手前）

## 4. シリーズ世界一周の旅 インド・デリー編

インド：デリー編 4月21日～26日

T.A 会員

インド、バラナスから飛行機でデリーへ移動。デリーはバラナスと変わらず人が多く、オートリクシャーが行き交う活気ある街だった。一泊 1500 円ほどのホテルに宿泊。ツインベッド、テレビ、冷房、シャワー室もあってなかなか快適だった。

ホテルで休憩していると、旅行前から連絡を取っていた友人の友人（つまり私は会ったことがない）がわざわざホテルまで花を持って会いに来てくれた。政治家を目指しているサジープさんとその友人で弁護士のジョジョさんだった。サジープさんは私が 10 年ほど前に乗った「内閣府国際青年交流事業」の「世界青年の船」の参加年度が違うメンバーの一人。10 年前、私と一緒に船に乗ったカナダ人の紹介で知り合った。

お互いに自己紹介をした後、ニューデリーの町を車で案内してくれた。大統領官邸やサジープさんの事務所、インド門などを見物する。インド門に着いた時は日も暮れて暗くなっていたが祭りのように人が沢山で、周りには屋台などもあった。見学していると女の人に突然手の甲にヘナで絵を描かれそうになったが、直ぐにジョジョさんが追い払ってくれた。結構押し売りが多いので気をつけるようにと言われる。こういう時、地元の友人がいるととても心強い。

私たちはインド旅行の王道であるアグラ、ジャイプールの観光を計画していたが、ホテルのツアーは一泊二日 2 万円以上で高かった。そこでサジープさんに相談してみると各施設への入場券はつかないが一泊二日で 5000 円ほどのツアーを探してくれてくれた。安いけど中身はかなり充実したツアーで、出発は朝の 5:45、そして帰りは翌日の 22 時で見学施設も、アンベール城、ジャンタル・マンタル、シティーパレス、風の宮殿、ファテープル・シークリー、アグラ城、タージマハル等々でかなりハードな内容だった。2 日後にこのツアーに参加することにした。

翌日のデリー2 日目は流石に昨日の疲れが出て昼過ぎまで部屋でごろごろ。その後、友人と 2 人、リクシャーでコンノートプレスへ行ってみるがこのリクシャー 500m も進まない内にココがコンノートプレスといって下ろされる。相変わらずここでもリクシャー親父との戦いが始まる。毎回ながら値段交渉や旅行会社への案内を断る日々。

コンノートプレスは円形の白い大きな建物にお洒落な店やカフェがあって一息できるような場所。店などを見物したりカフェで休憩したりしたあと、中心にある芝生の公園に行ってみる。かわいい熊の銅像がぐるっと置かれていて、各国代表という感じでいろんな国の特徴を生かしたペイントがされていた。もちろん日本の熊ちゃんもあった。夕暮れくらいまでのんびりして、ホテルに帰った。

デリー3 日目はアグラ・ジャイプールへのツアー。大きな荷物を一時ホテルに預かってもらいチャックアウト。そして旅行会社へ向かう。大きなバスでのツアーだったが参加者は私たち以外すべてインド人。サジープさんの地元ケーララの旅行会社で、その参加者もケーララからの旅行者が主だと言う。

ツアー1 日目はタワーマハル、デリーから車で 4 時間の距離。バスでの移動は長時間となるのだが、バスに乗り込むと早速テレビにインドのドラマや歌が流され、映画の「踊るマハラジャ」同様、踊って歌ってのストーリーで楽しめた。ドラマは主に親や仲間の仇を取るというヒーローものが多かったが、言葉が聞き取れなくても画像だけでもおもしろい。日本人へのサービスなのか、「I LOVE 東京」というインド人が歌う歌も流された・・・。

観光案内は英語でしてくれるが、インド訛りでよく聞き取れず。しばしば集合時間や場所を聞き逃す。大体ツアーガイドについて説明を聞きながら回る形式だったが、私たちは別行動で勝手に見学し記念写真などを撮っていたら、2 回も迷子になり、その度にツアーガイドに酷く怒られてしまった。一度なんかは、私たちを置いて食事場所に移動してしまったため電話で連絡し、リクシャーを捕まえて自力でレストランに行く羽目に。こんなキツキツのタイムスケジュールのツアー、日本だけかと思ったが、時間にルーズそうなインドにもあるのだとちょっと感心した。

ツアー2 日目は早朝出発。4:30 にバスに乗り込む。2 日目はアグラ城やタージマハルを見学。城を見学していると 7 歳くらいの男の子達が菓書などのお土産を売りにつきまわって来た。断る

と今度は「ペンを頂戴」とついてくる。心優しいインドの婦人が買ってあげていたけど、どうも大人に強いられて葉書売りをしている様子で、土産物が売れないと陰で大人の男に腕をひねられていた。

ツアーを終えて帰ってくると 22 時を回っていた。私達を何度も怒ったツアーガイドの叔父さんも最後は優しく、ホテルへのオートリクシャーを拾って値段交渉までしてくれた。なんだかハードな 2 日間だったが充実したツアーだった。

## 5. サーバストラベリング報告

N.Y 会員

期間: 2015 年 3 月 5 日～9 日 3 泊 5 日 旅行地: ハワイ

初めてのサーバス旅行でドキドキしながらハワイ行きの飛行機に乗り込み旅はスタート。ホームステイ先の方が空港にお迎えに来て下さるとのことで、空港で待ち合わせでしたが、なかなか探すことができず。困っていたら空港の案内所の方が、ローカルの電話番号なら連絡してあげるといってくれ、ホームステイ先の方に携帯に連絡してくれることに！おかげですぐにお会いすることができました！ご自宅までの車の中で、ハワイの観光名所などいろいろ教えて頂き、その日はワイキキビーチ周辺をのんびり 1 人でショッピングすることに。夜は、ホストの方とそのお嬢様&彼氏の 4 人で夕食を頂きました。

2 日目は、ダイヤモンドヘッド・パールハーバー・チャイナタウン・イオラニ宮殿等観光めぐりの 1 日で大満足！

3 日目は、ホストの方とノースショアで、ウミガメとハワイアンモンクシールウォッチング。ランチにサンドイッチを作って下さっていたので、海辺でハワイアンモンクシールを観察しながらのランチでした。その帰り道、展望台によって頂き、ハワイを一望！

初めてのサーバス旅行でしたが、3 日間ハワイの歴史・文化を体験することができ、貴重な 3 日間となりました。

(コーディネーターから：N.Y さんは外資系の会社にお勤めの若手の会員さんです。早速新しい方をお誘いいただいています。)

## 6. サーバス九州からのお知らせと 2015 年度会費納入のお願い

### ● ホストリスト電子版 (E-HL と呼称しています) のこと

ホストリストをお届けする際にも書きましたが、ホストリストの電子版が完成し、国際サーバスのドルフィンにアップされました。各国の支部長はそこから日本サーバス会員の情報を入手してトラベラーに貸出し、トラベラーは直接会員みなさんにコンタクトを取って見えると思います。事の流れは今までとたいして変わりはありません。尚、印刷版も各国へ送付されていますので、そちらもまだ、使われていきます。(やがては電子版に一本化されるでしょうが・・・)

### ● 2015 年度会費納入のお願い

サーバスの会費は年度当初(1 月)にその年度分の会費を納入していただくことになっています。2015 年会費の送金がお済でない方はなるべく早くご送金をお願いしたいと思います。

納入先(郵便局口座番号)はこのメールの最後に記していますが、わかりにくい方もいらっしゃると思いますので、該当の方には郵便振込用紙をお送りいたします。4月5日現在の状況です。行き違いになっていたらご容赦ください。

尚、会計に対するご質問は遠慮なくお尋ねください。ミスがないように通帳とのチェックを念入りに行っていますが、見落としもあるのではないかと不安もありますので、ご指摘いただければと思います。よろしくお願ひします。

## 7. サーバス九州現況 (2015年4月9日現在)

新入会 :

鹿児島県始良市の F.S さんが入会してくださいました。

学園をなさっています。九州7県にホストが在籍することになりました！

福岡県福岡市の T.H.さんが入会してくださいました。高校の先生を今春ご退職でした。4月から1年間イギリスに留学されるそうですが、入会してくださいました。お二人のご活躍を期待いたします

九州支部会員数 56 家族

<内訳：福岡 14、佐賀 4、長崎 8、熊本 6、大分 14、宮崎 9、鹿児島 1>